

シーシーエス株式会社

2008年7月期決算説明会

2008年9月11日(木)

ジャスダック 証券コード6669

目次

1. 企業概要
2. 2008年7月期の決算概要
3. 2009年7月期の事業展開
4. 2009年7月期重要テーマ
5. 最新トピックス

シーシーエスの経営理念

社是
お客様に愛と感謝

企業理念
光を科学し、社会に貢献する

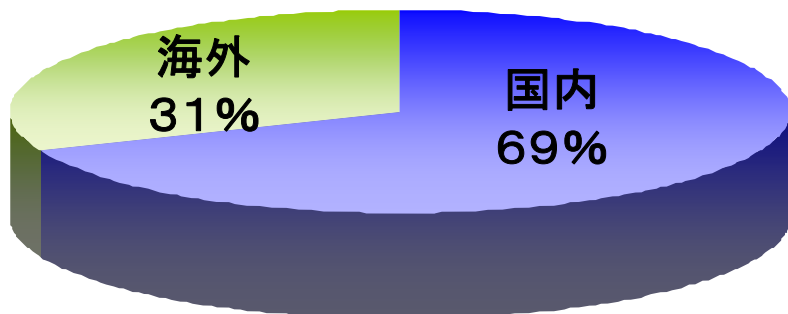
中長期ビジョン
新たな光産業を創出し、光の世界企業を目指す

事業別/国内・海外売上構成(連結)

(単位:百万円)



2008年7月期
売上高 5,602百万円



	07年7月期	08年7月期
工業用LED照明事業	4,967	5,500
新規事業	218	102
合計	5,185	5,602

	07年7月期	08年7月期
国内	3,555	3,849
海外	1,630	1,753
合計	5,185	5,602

主力事業：工業用LED照明事業

画像処理用LED照明の開発・製造・販売



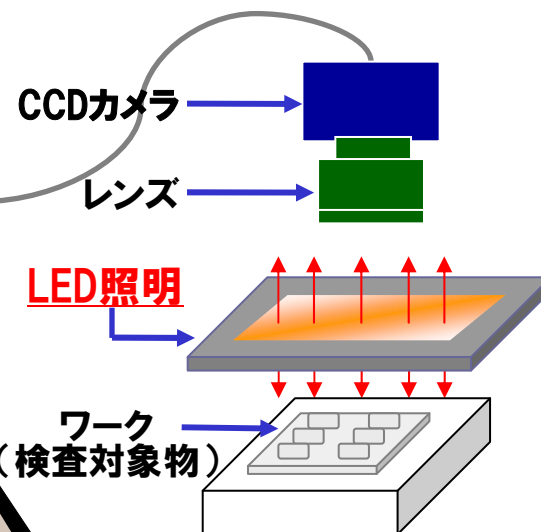
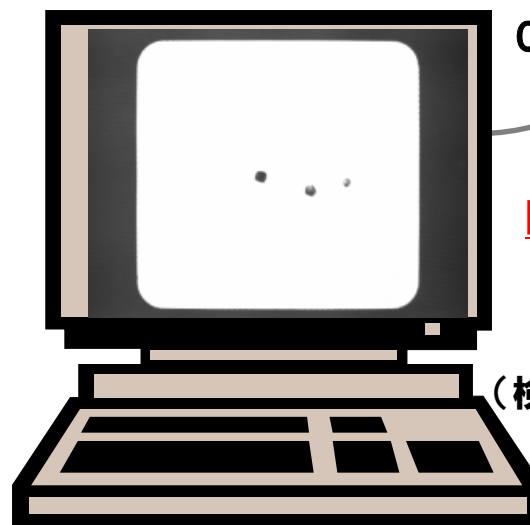
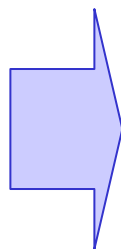
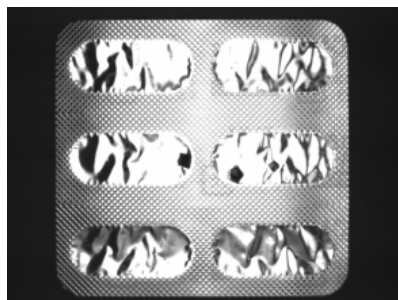
電子・半導体業界向け



三品（食品・医薬品・化粧品）業界向け



自動車業界向け



〔撮像例：薬のプリスタパック〕

主力事業の市場環境

画像処理市場	画像処理用照明市場
<ul style="list-style-type: none">■ 目視から自動化へ■ 品質重視の傾向■ アプリケーションの拡大へ	<ul style="list-style-type: none">■ 他光源からLEDへの置換えの波<ul style="list-style-type: none">✓ 低消費電力✓ 長寿命✓ 環境志向
エンドユーザー	画像処理用照明が使用される場所
電子部品業界 半導体業界 食品・飲料品業界 医薬品業界 自動車業界 等	製造ライン 製造装置および検査装置に搭載 等

シーシーエスの特長

シーシーエスの強みは
ソフトとハードの両面を保有していること

40,000件の撮像データをもとに独自のソリューション提案
ライティング・ソリューション

ソフト面

画像処理用LED照明で
国内・海外ともに
シェア1位

特許
出願数
270件
登録数
74件

製造
技術

集光
技術

放熱
技術

ハード面

売上規模が
1億～7億程度の企業
が多数存在する市場

2008年7月期連結業績

(単位:百万円) ()内:対売上比

	2007/7実績	2008/7実績		変動	
	実績 [A]	計画 [B]	実績 [C]	前期比[D] [C] - [A] [C] / [A]	計画比[E] [C] - [B] [C] / [B]
売上高	5,185	5,800	5,602	+417(108%)	-198(97%)
国内(工業用)	3,337(64.4%)	3,840(66.2%)	3,747(66.9%)	+410(112%)	-93(98%)
海外(工業用)	1,630(31.4%)	1,850(31.9%)	1,753(31.3%)	+123(108%)	-97(95%)
新規事業	218(4.2%)	110(1.9%)	102(1.8%)	-116(47%)	-8(93%)
売上総利益	3,234(62.4%)	3,750(64.7%)	3,597(64.2%)	+363(111%)	-153(96%)
販売管理費	2,524(48.7%)	2,950(50.9%)	2,817(50.3%)	+293(112%)	-133(95%)
営業利益	710(13.7%)	800(13.8%)	779(13.9%)	+69(110%)	-21(97%)
経常利益	721(13.9%)	780(13.4%)	765(13.7%)	+44(106%)	-15(98%)
当期純利益	431(8.3%)	500(8.6%)	501(8.9%)	+70(116%)	+1(100%)
研究開発費	428(8.3%)	565(9.7%)	470(8.4%)	+42(110%)	-95(83%)
減価償却費	106(2.0%)	120(2.1%)	157(2.8%)	+51(148%)	+37(131%)
設備投資額	485(9.4%)	550(9.5%)	517(9.2%)	+32(107%)	-33(94%)

2008年7月期の概要

〔工業用LED照明事業の売上増の要因〕

- 新製品ラインアップ<LED光源ボックス、ハイパワーライト、ライン照明>
- 国内外のテストングルームを中心としたソリューション強化
 - ・仙台テストングルームの新設 <テストングルーム合計9箇所
 - ・中国・深セン駐在員事務所の新設 <国内4箇所、海外5箇所>

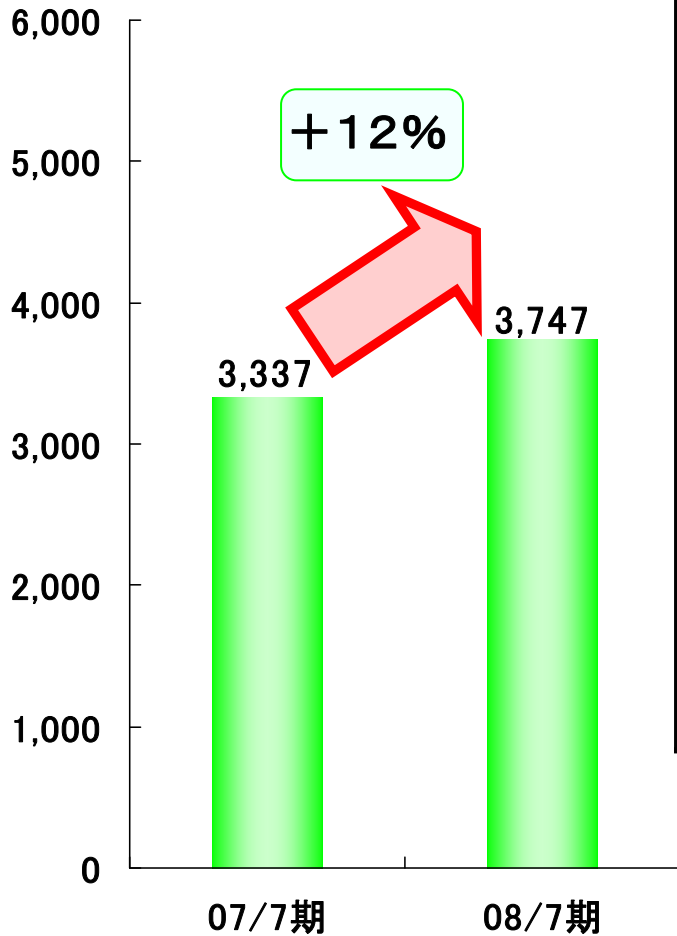
〔新規事業の進捗状況〕

- 光技術研究所が竣工・本稼動<2008年1月>
- 山口大学との共同研究:自然光LEDの量産準備を完了<2008年7月>
- 自然光LED搭載照明として4機種の試作品を完成
- ゆらぎ灯籠の開発を完了
- 店舗用スポットライトの開発を完了

売上高の増加要因と外部環境

国内(工業用)

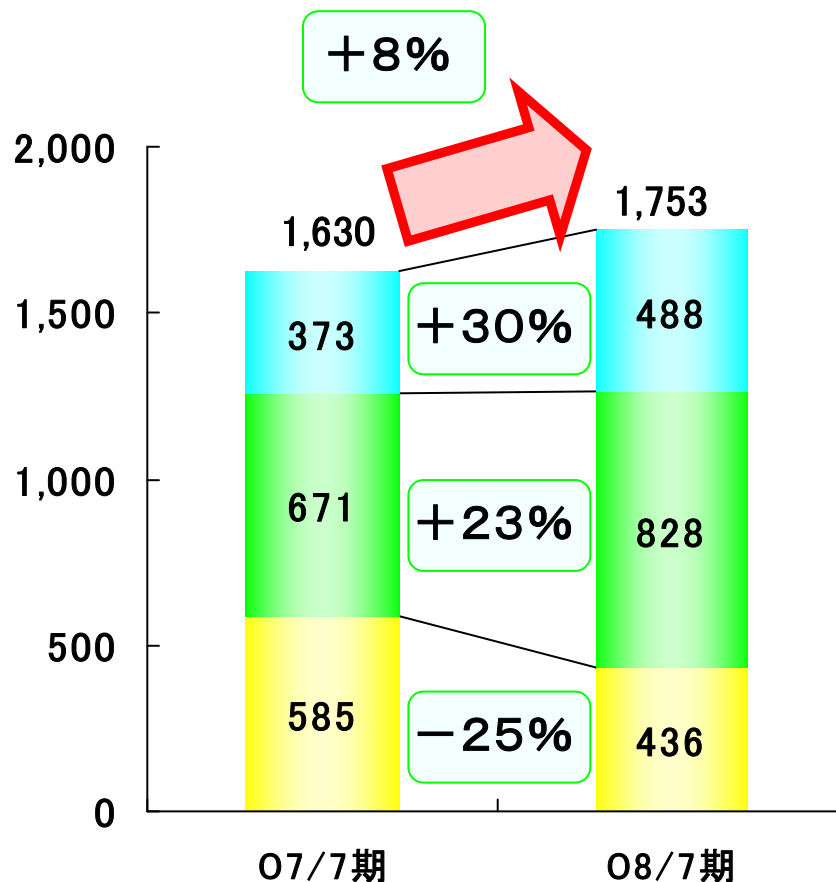
⊕ プラス要素 ⊖ マイナス要素



当社の状況	外部環境
<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 西部の電子・半導体関連向けが好調 ⊕ 西部および中部において薬品メーカーへの導入が増加 ⊕ 東部および西部の製缶メーカー向けが順調 ⊕ 東部および中部におけるFPD関連向けが順調 ⊖ 中部における自動車関連向けが不調 	<ul style="list-style-type: none"> ⊖ 半導体および電子部品業界の設備投資の抑制 ⊖ 自動車関連の設備投資が減少

東部は、北海道、東北、関東、新潟県
 西部は、近畿、北陸、中国、四国、九州地域をカバー
 中部は、中部東海地域をカバー

海外(工業用)



当社の状況	外部環境
⊕ 欧州において主要顧客中心に好調	⊕ 欧州における画像処理市場は順調に成長
⊕ 中国における案件数の倍増	⊕ 外資系企業の中国進出の増加
⊖ 北米における売上不振は底打ちし、若干上昇傾向	⊖ サブプライムローン問題により、北米における設備投資が減速

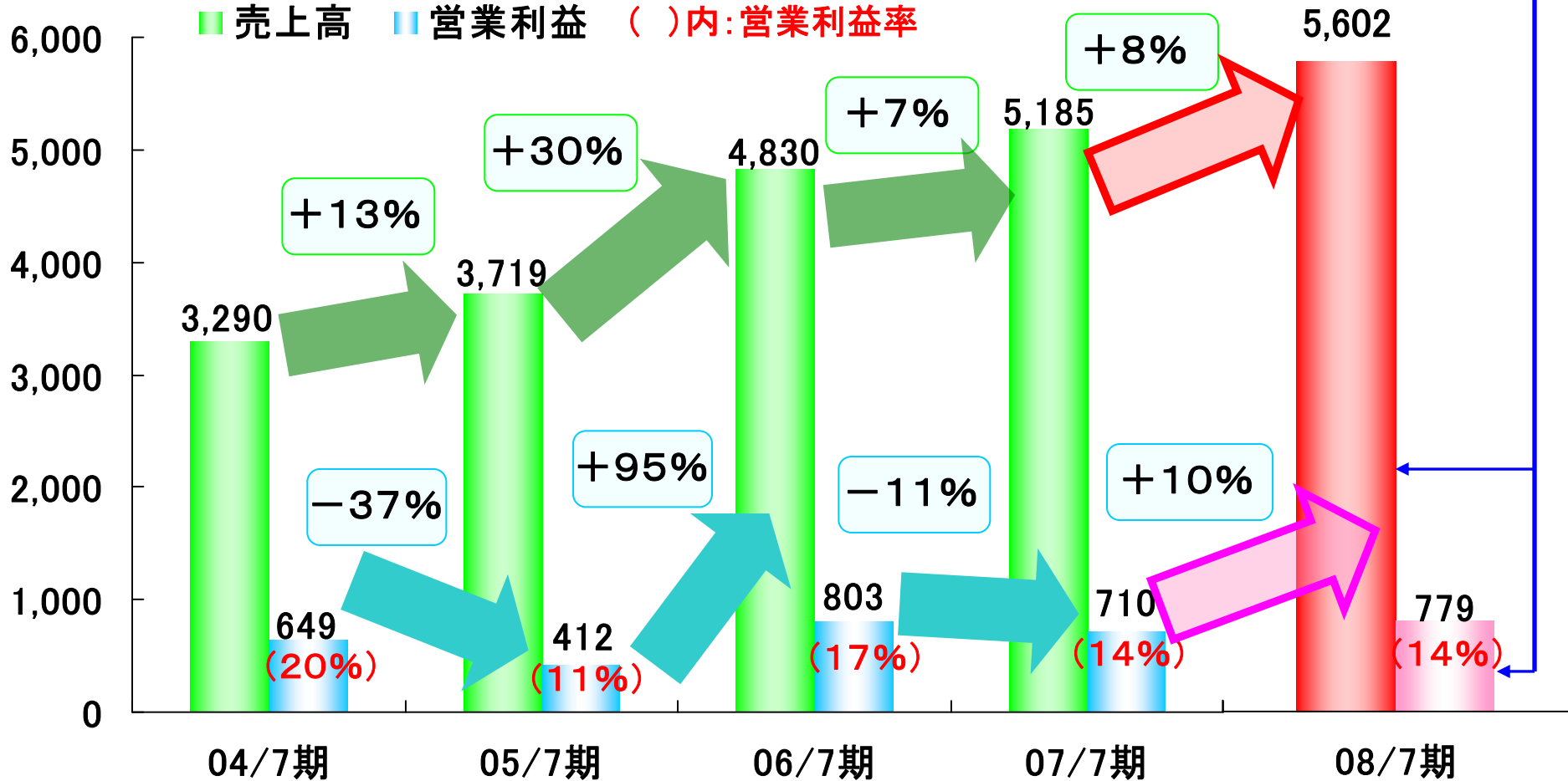
■ 北米(工業用) ■ 欧州(工業用)
■ アジア(工業用)

(単位:百万円)

売上高と利益推移(連結)

当期通期見込みの前年同期比 増収(8%)・増益(10%)

■ 売上高 ■ 営業利益 ()内:営業利益率

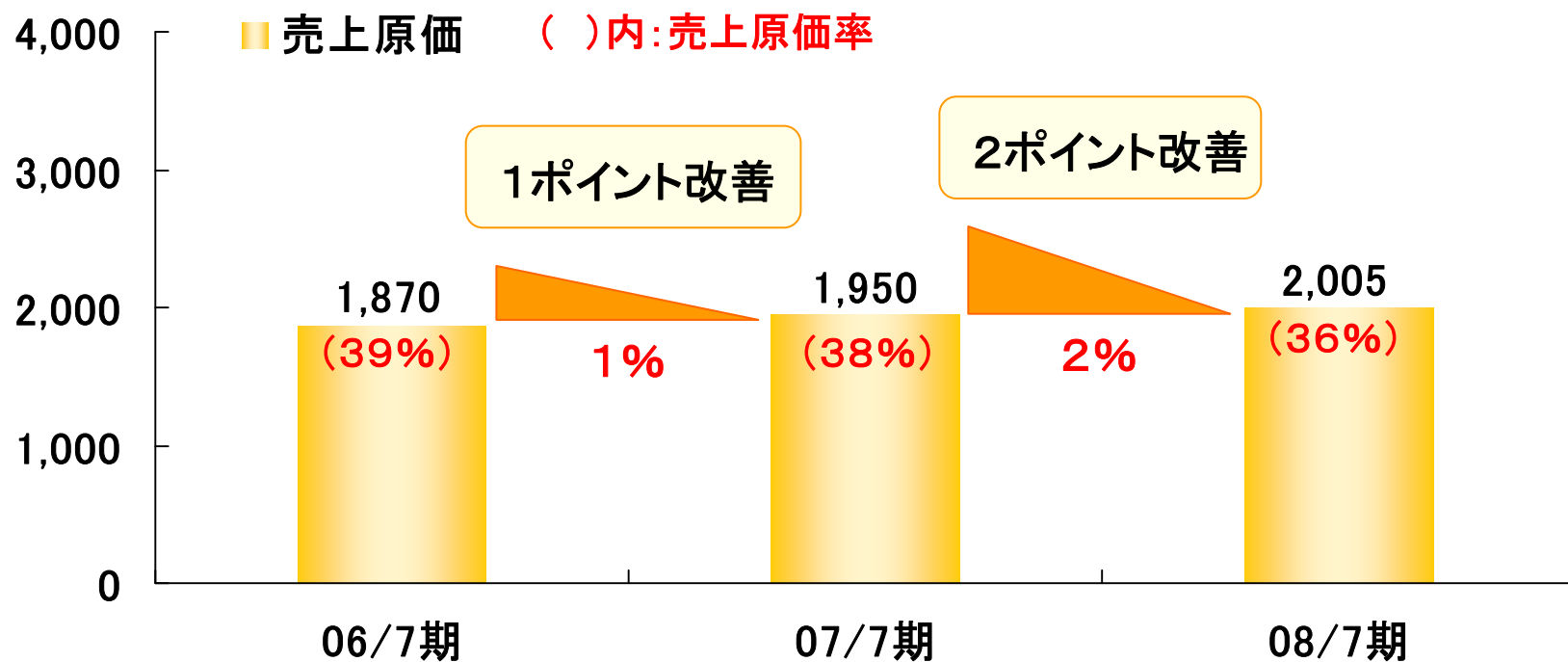


(単位:百万円)

売上原価の実績推移(連結)

□ 売上原価率が年々改善

□ 製造方法の効率化・部品の共通化を推進

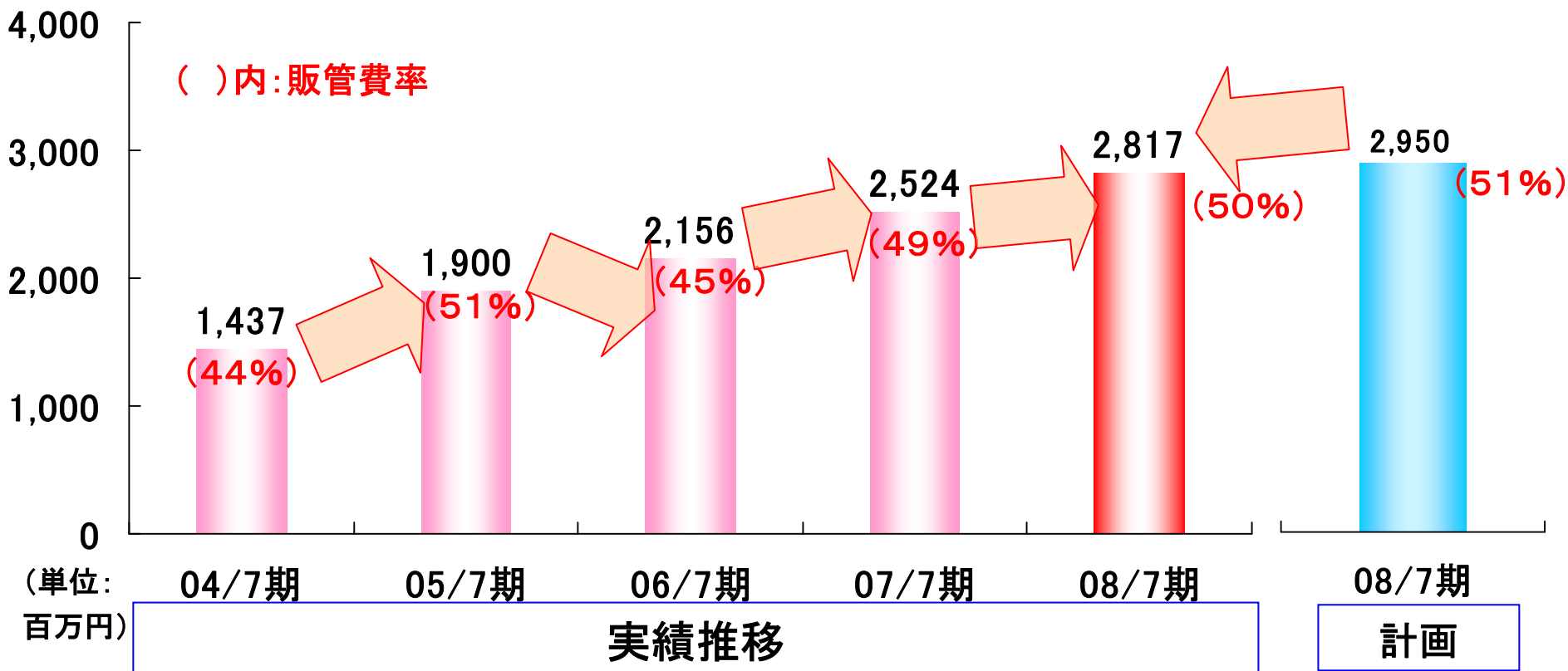


(単位: 百万円)

販売費・一般管理費の実績推移(連結)

□ 販管費は増加傾向であるものの、計画より販管費を抑制

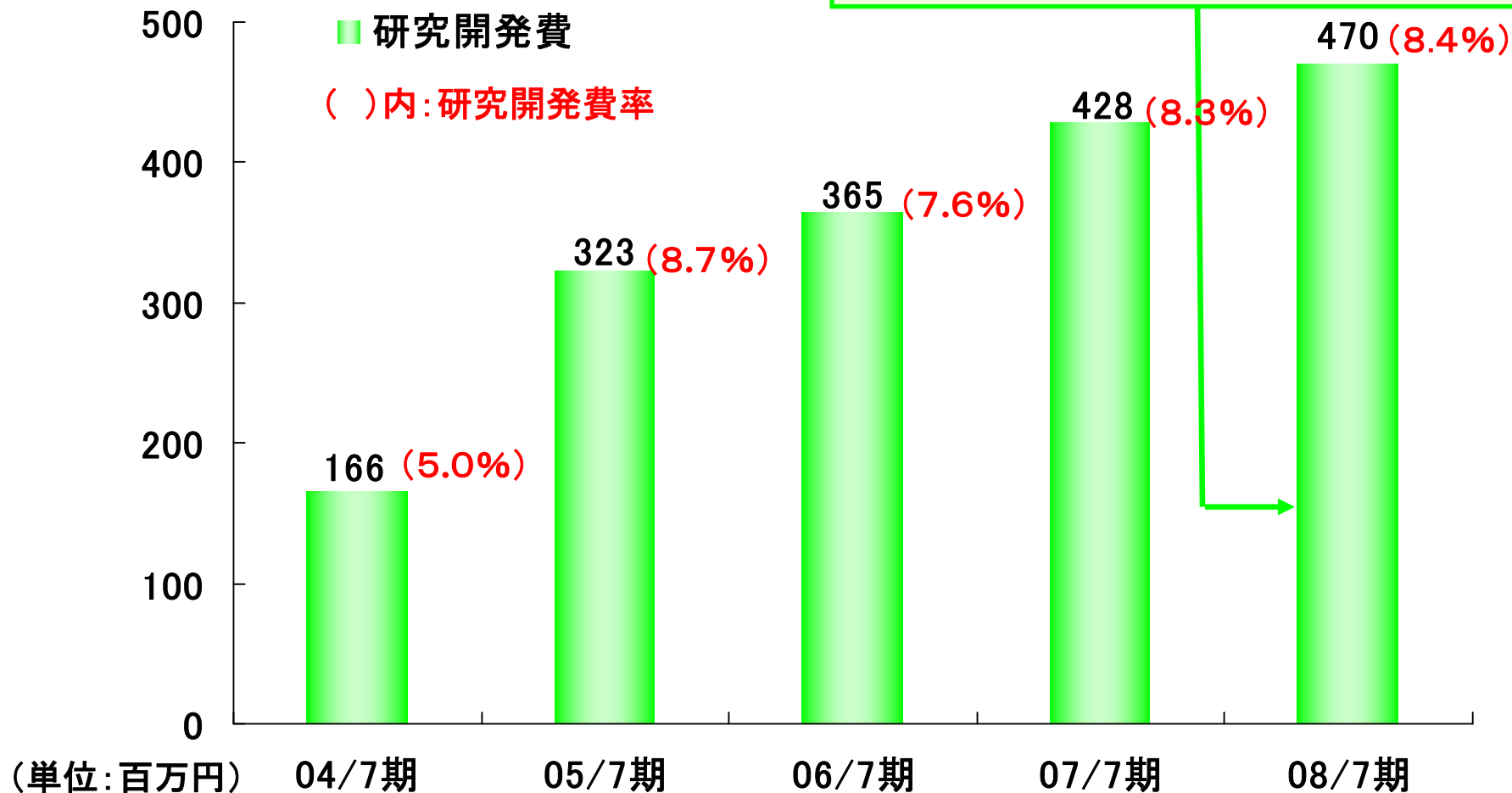
□ 必要な資源投資に絞り、効率化を推進



研究開発費の実績推移(連結)

□ 研究開発投資を積極化

- オリジナルLEDの開発・生産の設備を投入
- 既存分野における新製品の開発・商品化
- 新規分野における試作品の開発

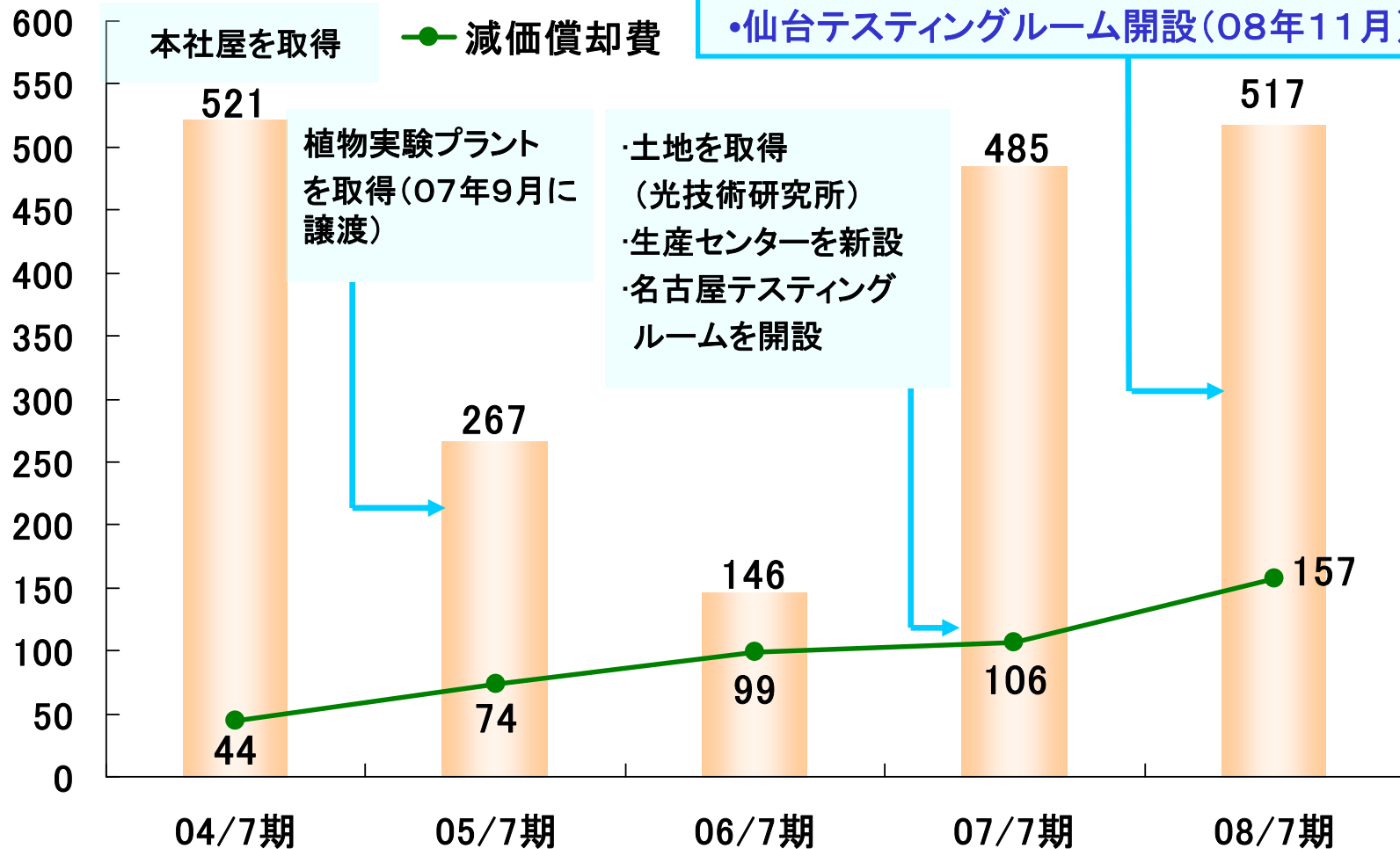


設備投資額の実績推移(連結)

(単位:百万円)

■ 設備投資
● 減価償却費

- ・オリジナルLEDの開発・生産の設備を投入
- ・シーシーエス光技術研究所を開設(08年1月)
- ・中国・深セン駐在員事務所開設(08年3月)
- ・仙台テストイングルーム開設(08年11月)



2009年7月期 事業展開

コーポレートステートメント

人と地球にやさしい世界企業を目指す

当社は既存分野にとどまらず、様々な分野で
人にやさしく、地球環境にやさしい
光ビジネスを展開・拡大していきます。



MV事業

マシンビジョン照明分野

(旧名称:工業用LED照明分野)



新規事業

新規FA分野
UVマーケットと
目視マーケットの攻略



民生分野
自然光搭載商品
ゆらぎ灯籠



顕微鏡分野
自然光搭載商品



メディカル分野
手術用
内視鏡用



バイオ分野
植物工場用
LEDパネル



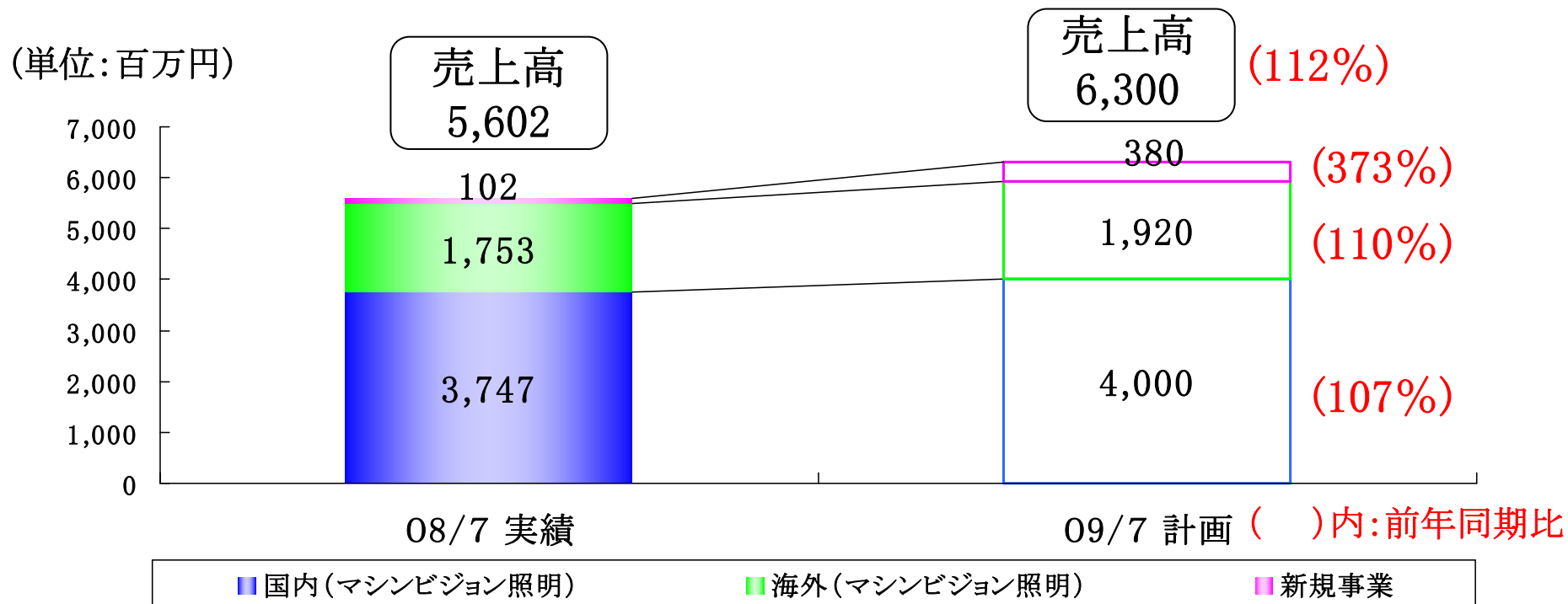
2009年7月期計画

(単位:百万円) ()内:対売上比

	2008/7実績	2009/7計画	変動	要因	
	通期実績 [A]	通期計画 [B]	前期比[C] [C] - [A] [C] / [A]		
売上高	5,602	6,300	+698(112%)	製品展開と 新たなチャネル開拓	
国内(マシンビジョン)	3,747(66.9%)	4,000(63.5%)	+253(107%)		各国の市場環境やニーズ に即した事業展開
海外(マシンビジョン)	1,753(31.3%)	1,920(30.5%)	+167(110%)		
新規事業	102(1.8%)	380(6.0%)	+278(373%)	自然光LED搭載製品の 市場投入	
売上総利益	3,597(64.2%)	4,050(64.3%)	+453(113%)	生産効率の向上による 売上原価率の低減	
販売管理費	2,817(50.3%)	3,150(50.0%)	+333(112%)		
営業利益	779(13.9%)	900(14.3%)	+121(116%)	研究開発投資の積極化、 人的投資や経費は抑制	
経常利益	765(13.7%)	880(14.0%)	+115(115%)		
当期純利益	501(8.9%)	540(8.6%)	+39(108%)	研究開発費率10%(これ まで8%前後で推移)	
研究開発費	470(8.4%)	614(9.7%)	+144(131%)		
減価償却費	157(2.8%)	131(2.1%)	-26(83%)	設備投資額は前期比減	
設備投資額	517(9.2%)	306(4.9%)	-211(59%)		

2009年7月期重点施策

1. 自然光LEDのマーケットをつくる
2. グローバル化とローカル化
3. マシンビジョン分野での新規重点施策



1-1 自然光LED開発の経緯

自然光LEDの量産化にいたるまで

8月 自然光LEDの研究開発スタート

11月 自然光LED搭載の第1号照明・
目視検査用拡大リング照明を出展
第1回「白色LEDと固体照明」国際会議
(ホテルパシフィック東京・11月26日～30日)

3月 自然光LED搭載の大腸検査用
内視鏡照明を実現
山口大学医学部附属病院でヒトの
大腸実験に成功(産学官連携事業)

3月 「LED Next Stage」に数機種出展
(日経新聞主催・東京ビッグサイト・3月4日～7日)

7月 自然光LED搭載の
実体顕微鏡用照明を出展
「第7回国際バイオEXPO」
(東京ビッグサイト・7月2日～4日)

7月 自然光LEDの量産準備を完了

第1号
目視検査用拡大リング照明



第2号
大腸検査用内視鏡照明



第3号
実体顕微鏡用
照明



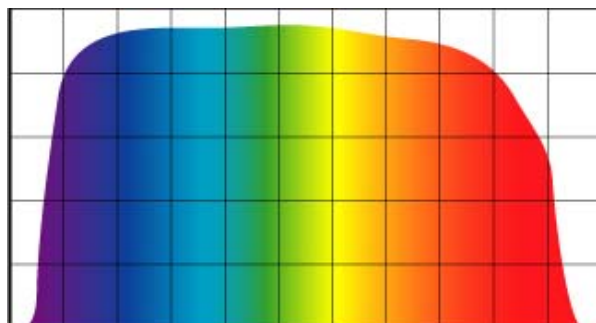
自然光LED搭載照明を
3機種試作品完成

1-2 自然光LEDの特長

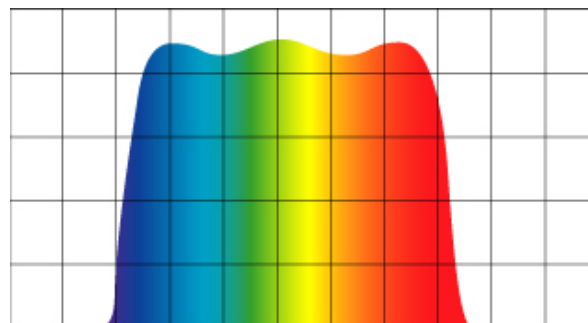
特長1: 色の再現性が高い

()内は色の再現性を示す
演色評価数

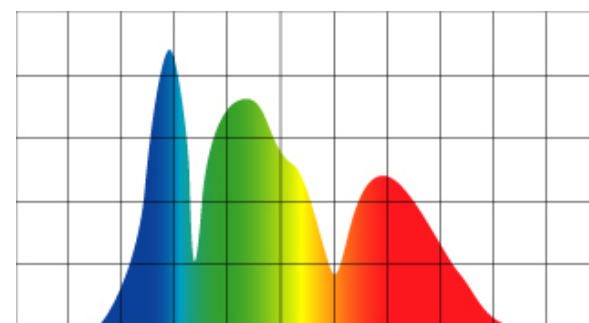
太陽光(100) > CCS自然光LED(98) > 他社の演色性の高いLED(92)
> 従来の青色ベースYAG(70)



太陽光



CCS自然光LED



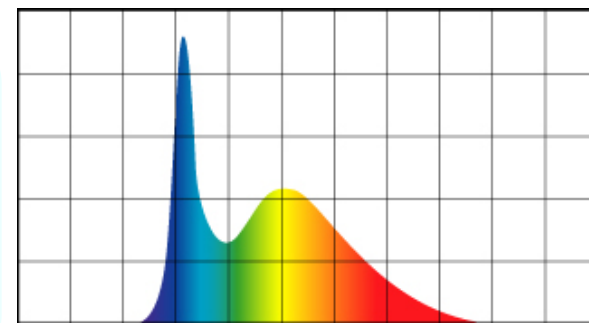
他社の演色LED

太陽光に近い波長

様々な色を
満遍なく出す

特長2:
対象物を傷めない

紫外線を含まない



従来の白色LED

1-3 自然光LEDマーケットの開拓

当社がねらう用途

自然光LEDを用いると
こんなメリットがあります

顕微鏡・目視検査用



目にやさしい、演色性が高い

医療用



正確に観察することができる

店舗用

(百貨店の化粧品売場、花屋、
ブランドショップなど)



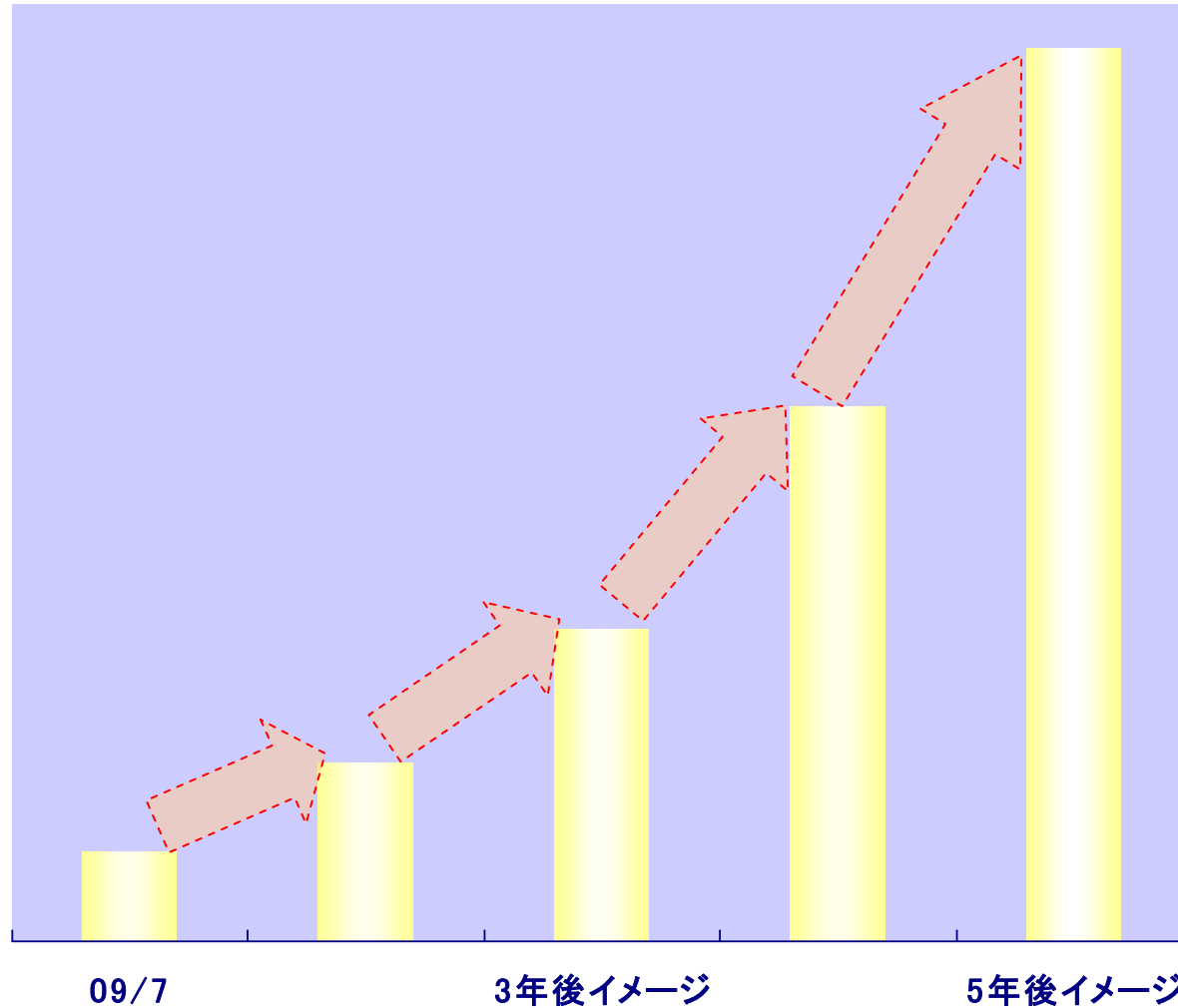
太陽光の下での色味を確認
できる

美術館、博物館などの
芸術品・重要文化財



作品を傷めない
本来の色味を鑑賞できる

1-4 自然光LEDマーケットの成長イメージ



2. グローバル化とローカル化

各国ニーズに即した拠点戦略でグローバル展開

欧州における当社の事業戦略	欧州市場
<ul style="list-style-type: none">・マシンビジョンプレイヤーの開拓・主要顧客との関係強化	<ul style="list-style-type: none">・主に自動車、電子・半導体、パッケージ・新アプリとして太陽電池が有望
北米における当社の事業戦略	北米市場
<ul style="list-style-type: none">・産業別の事業戦略を展開	<ul style="list-style-type: none">・主に生活必需品、自動車、薬品・新アプリとして太陽電池が有望
中国・他アジアにおける当社の事業戦略	中国・他アジア
<ul style="list-style-type: none">・ソリューションビジネスを展開・販売体制を強化 (エリア拡大、拠点など)	<ul style="list-style-type: none">・主に電子・半導体、FPD

3-1 マシンビジョン分野での新規重点施策

LED光源ボックス「PFBシリーズ」



ライン照明



3-2 世界戦略品・LED光源ボックス 「PFB-20SW」

<製品特長>

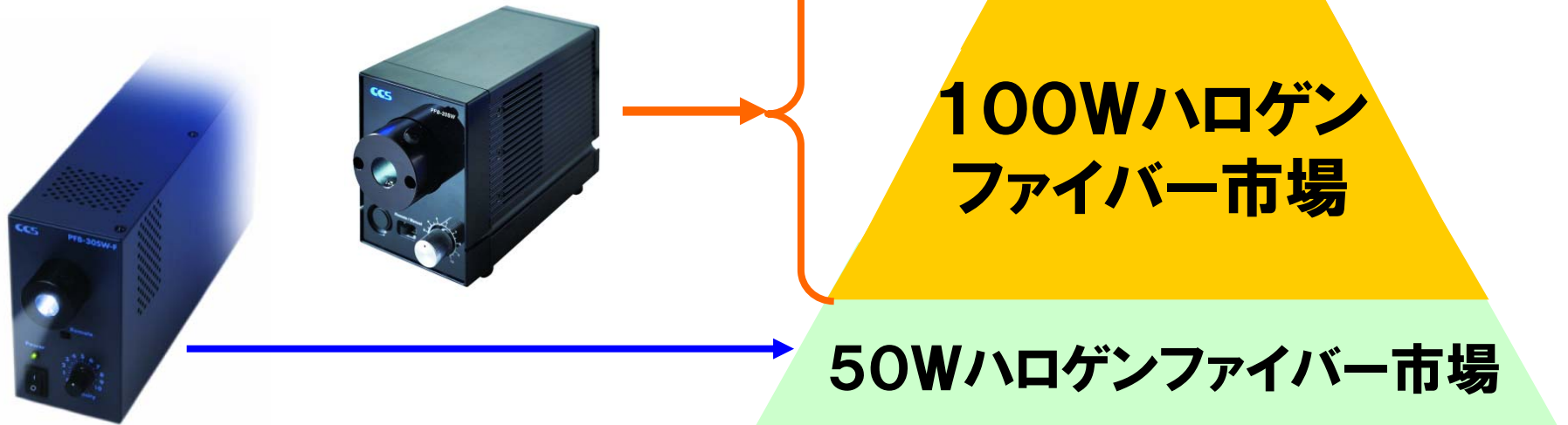
- 明るさアップ
100Wハロゲンの
約1.3倍の明るさ
- 低消費電力
100Wハロゲンの
5分の1
- コンパクト化
従来品の約2分の1のサイズ
- 低価格化



3-3 PFB-20SWのターゲット

100Wハロゲン光源ボックスの 置換え市場の攻略

- ✓ 工場のライン置換え
- ✓ 装置用光源ボックス



3-4 高成長市場向け戦略製品

ライン照明



<製品特長>

- ◆ **高輝度: 150Wハロゲン置換え可能**
- ◆ **長寿命: ハロゲンランプの約25~30倍**
(100Wハロゲンランプ: 1,000時間 との比較)
- ◆ **最適な波長を選択可能**
(LED光源色のそれぞれの波長の特性を利用できる)

<ターゲット>

- ◆ **FPD**
- ◆ **太陽電池**

FPD	LCD	11兆	予測成長率 10%
	有機EL	600億	予測成長率 36%
	タッチパネル	1,200億	予測成長率 19%
太陽電池		1兆	予測成長率 30%

現在の市場規模と予測成長率(2008年当社調べ)

2009年7月期重要テーマ

福井工場
敷地面積 13,229m²
延床面積 3,748m²
(第一期工事: 蛍光灯で稼動)

三菱化学
株式会社

太陽電池



シーシーエス
株式会社

LED照明
および制御技術

10月末から福井工場
での共同開発をスタート

2007年9月から共同開発

株式会社
フェアリーエンジェル

植物育成技術
および
プラント技術

太陽電池でのLED植物工場の実現
(人と環境にやさしい)



最新トピックス①

京都大学とシーシーエスが共同研究を開始 高付加価値の照明技術の開発に取り組む

共同研究テーマ：フェムト秒レーザーによる加工技術を
応用した次世代光学部品および照明の開発

フェムト秒レーザーによる加工技術

ガラス材料などの表面・内部に
フェムト秒レーザー
(フェムトは1000兆分の1)を当てることで
微細な加工を施す技術のこと。

京大桂イノベーションセンターに 研究室を設置



最新トピックス②



藤袴・光の回廊事業に LEDゆらぎ灯籠50基を寄贈

開催期間:9/9~9/24



《注意事項》 本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



第4回IR優良会社表彰にて
「優良IR賞」を受賞

(ジャスダック、証券コード:6669)

<http://www.ccs-inc.co.jp>

管理本部 経営戦略部 広報IR課

TEL (075)415-8291

FAX(075)415-7724

京都市上京区烏丸通下立売上ル
桜鶴円町374番地

2009年7月期第2四半期計画(連結)

(単位:百万円) ()内:対売上比

	前年度・上期	09/7・上期	変動
	実績 [A]	計画 [B]	前期比[C] [B] - [A] [B] / [A]
売上高	2,723	2,900	+177(107%)
国内(工業用)	1,821(66.9%)	1,900(65.5%)	+79(104%)
海外(工業用)	846(31.1%)	920(31.7%)	+74(109%)
新規事業	56(2.1%)	80(2.8%)	+24(143%)
売上総利益	1,783(65.5%)	1,900(65.5%)	+117(107%)
販売管理費	1,368(50.2%)	1,600(55.2%)	+232(117%)
営業利益	414(15.2%)	300(10.3%)	-114(72%)
経常利益	401(14.7%)	290(10.0%)	-111(72%)
当期純利益	261(9.6%)	170(5.9%)	-91(65%)
研究開発費	211(7.7%)	297(10.2%)	+86(141%)
減価償却費	48(1.8%)	61(2.1%)	+13(127%)
設備投資額	376(13.8%)	292(10.1%)	-84(78%)

2009年7月期通期計画(連結)

(単位:百万円) ()内:対売上比

	前年度・通期	09/7・通期	変動
	実績 [A]	計画 [B]	前期比[C] [B] - [A] [B] / [A]
売上高	5,602	6,300	+698(112%)
国内(工業用)	3,747(66.9%)	4,000(63.5%)	+253(107%)
海外(工業用)	1,753(31.3%)	1,920(30.5%)	+167(110%)
新規事業	102(1.8%)	380(6.0%)	+278(373%)
売上総利益	3,597(64.2%)	4,050(64.3%)	+453(113%)
販売管理費	2,817(50.3%)	3,150(50.0%)	+333(112%)
営業利益	779(13.9%)	900(14.3%)	+121(116%)
経常利益	765(13.7%)	880(14.0%)	+115(115%)
当期純利益	501(8.9%)	540(8.6%)	+39(108%)
研究開発費	470(8.4%)	614(9.7%)	+144(131%)
減価償却費	157(2.8%)	131(2.1%)	-26(83%)
設備投資額	517(9.2%)	306(4.9%)	-211(59%)

貸借対照表（連結）

資産	07/7 期末	08/7 期末	負債・純資産	07/7 期末	08/7 期末
現金及び預金	589	970	流動負債	839	873
受取手形・売掛金	1,479	1,562	固定負債	416	607
たな卸資産	725	839			
その他	110	118			
流動資産合計	2,905	3,489	負債合計	1,256	1,481
有形固定資産	1,092	1,210	資本金	458	460
無形固定資産	115	112	資本剰余金	573	575
投資その他の資産	138	119	利益剰余金	2,024	2,485
			自己株式	△74	△74
			為替換算調整勘定	13	4
固定資産合計	1,346	1,442	純資産合計	2,995	3,450
資産合計	4,252	4,931	負債・純資産 合計	4,252	4,931

【資産の部】

- 売上債権の増加
- 借入金の増加等による現預金の増加
- 有形固定資産（シーシーエス光技術研究所）の取得

【負債・純資産の部】

- 借入金の増加
- 利益剰余金の増加

（単位：百万円）

キャッシュフロー(連結)

	07/7 期末	08/7 期末
営業活動によるCF	259	476
税金等調整前四半期純利益	719	758
減価償却費	124	157
役員退職慰労引当金の増減額	△95	—
売上債権の増減額	△54	△83
たな卸資産の増減額	△91	△115
仕入債務の増減額	△40	30
法人税等の支払額	△335	△254
投資活動によるCF	△491	△329
有形固定資産取得による支出	△372	△465
有形固定資産売却による収入	30	153
財務活動によるCF	△34	234
長期借入金による収入	200	450
長期借入金の返済による支出	△118	△176
自己株式の取得による支出	△74	—
現金及び現金同等物の当期末残高	560	940

【営業活動によるCF】

- 減価償却費の増加
- 売上債権の増加

【投資活動によるCF】

- 有形固定資産取得による支出
- 有形固定資産売却による収入(植物育成実験プラント売却・2007年9月)

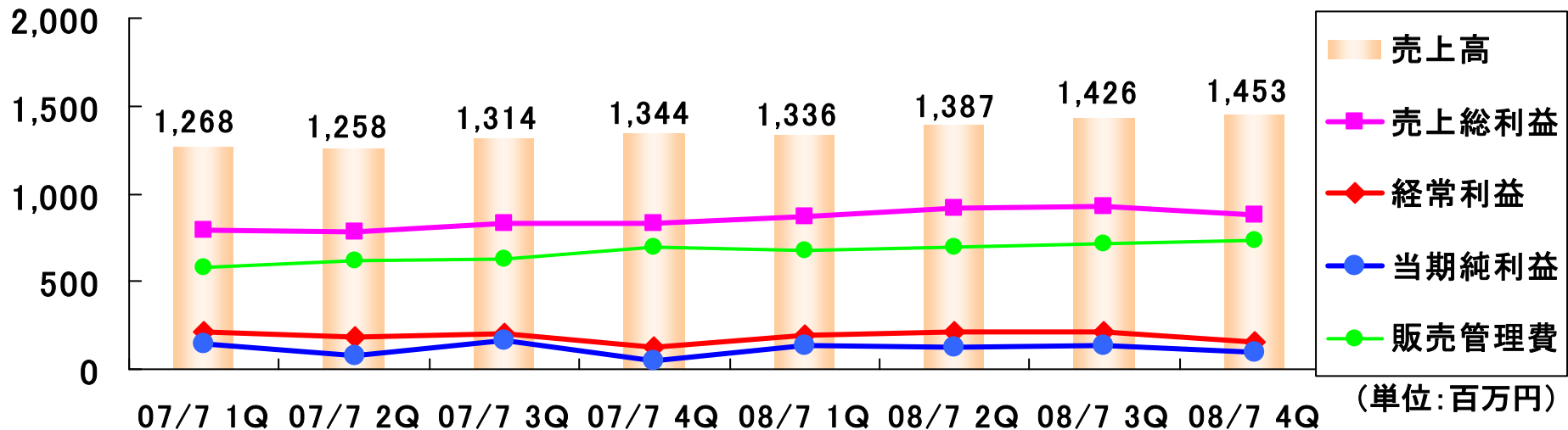
【財務活動によるCF】

- 長期借入金による収入

(単位:百万円)

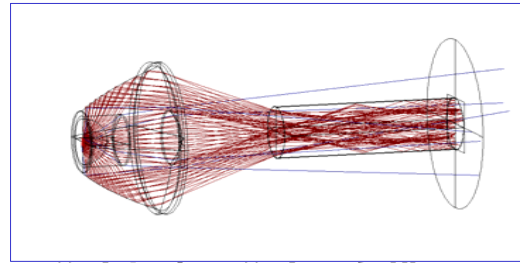
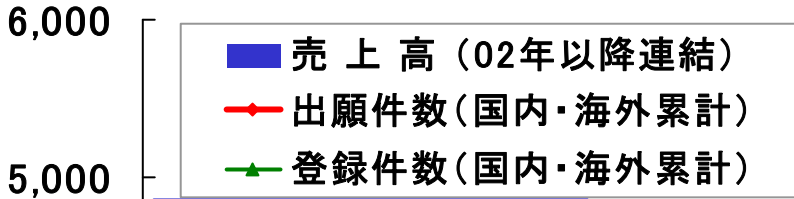
利益率推移(連結・四半期)

	07/7 1Q	07/7 2Q	07/7 3Q	07/7 4Q	08/7 1Q	08/7 2Q	08/7 3Q	08/7 4Q
売上高	1,268	1,258	1,314	1,344	1,336	1,387	1,426	1,453
売上総利益	788(62.1%)	787(62.6%)	830(63.2%)	827(61.6%)	868(65.0%)	915(66.0%)	930(65.2%)	884(60.8%)
販管費	577(45.5%)	618(49.2%)	628(47.8%)	700(52.1%)	676(50.6%)	692(49.9%)	713(50.0%)	736(50.7%)
営業利益	210(16.6%)	169(13.4%)	202(15.4%)	127(9.5%)	191(14.3%)	223(16.1%)	217(15.2%)	148(10.2%)
経常利益	212(16.7%)	179(14.2%)	200(15.2%)	128(9.6%)	189(14.1%)	212(15.3%)	208(14.6%)	156(10.7%)
当期純利益	142(11.2%)	77(6.1%)	163(6.1%)	47(3.5%)	131(9.8%)	130(9.4%)	139(9.7%)	101(7.0%)



特許出願および登録の状況

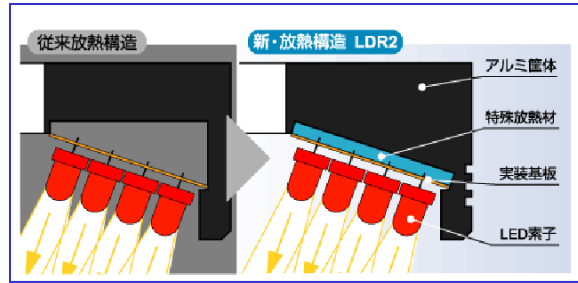
(単位:百万円)



*集光技術：集光照射構造
【特許登録済・2005年】

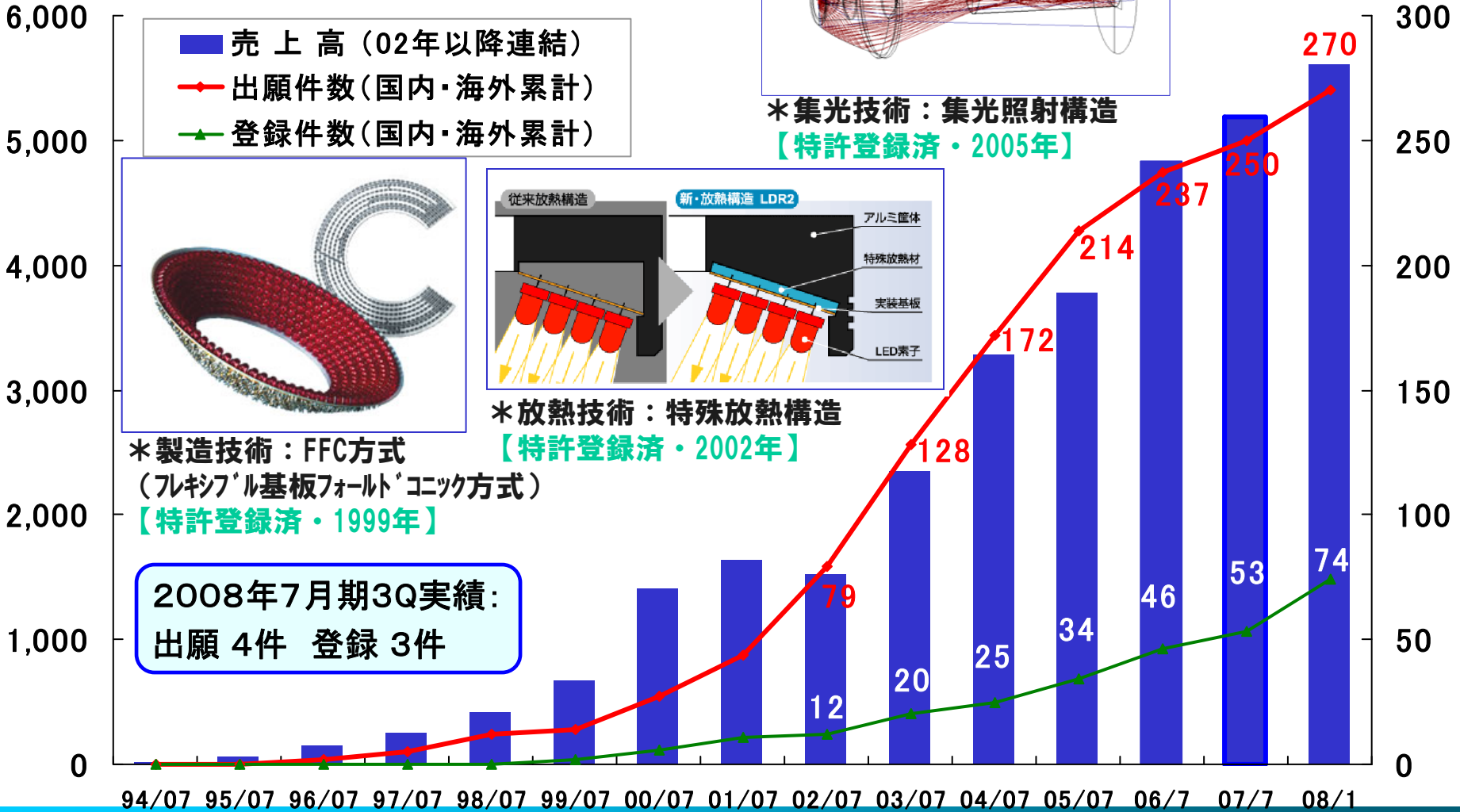


*製造技術：FFC方式
(フレキシブル基板フォールト'ニック方式)
【特許登録済・1999年】



*放熱技術：特殊放熱構造
【特許登録済・2002年】

(単位:件)



2008年7月期3Q実績:
出願 4件 登録 3件

海外拠点



国内拠点



沿革

- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1994 画像処理用LED照明事業に特化
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 CCSロジスティックセンターを開設(京都市伏見区)
ジャスダックに上場
RDV(S) PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
- 2005 植物育成実験プラントを稼動(千葉県野田市)
- 2007 名古屋テストングルームを開設(名古屋市西区)
東京営業所を拡充(8階増床)
生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
植物育成実験プラントを譲渡
仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)
- 2008 新研究所「光技術研究所」を開設(京都市上京区)
深セン駐在員事務所を開設(中国・深セン市)
名古屋営業所を開設(名古屋市中村区)

参考資料:LEDの開発の歩み

1960年代	赤色と黄緑色が開発される
1970年代	赤色と黄緑色と黄色が実用化される
1993年	青色が製品化される
1995年	純緑色の開発により、 光の三原色がそろそろ(赤・青・緑色)
1996年	白色が開発される

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表取締役社長 米田 賢治
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 4億6,035万円
- 従業員数 連結 186名(就業人員数)
- 発行済株式総数 20,630株
- 株主数 2,960名
- 連結子会社 3社
- 拠点数 CCS America, Inc. / RDV (S) PTE LTD / CCS Europe NV
国内 6ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 5ヵ所



本社(京都市上京区)

(2008年7月末現在)